【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【公開番号】特開2006-73540(P2006-73540A)
【公開日】平成18年3月16日(2006.3.16)
【年通号数】公開・登録公報2006-011
【出願番号】特願2005-279840(P2005-279840)
【国際特許分類】
***Ｆ２１Ｓ　9/02　(2006.01)***
***Ｆ２１Ｖ　8/00　(2006.01)***
***Ｇ０９Ｆ　13/18　(2006.01)***
*Ｆ２１Ｙ 103/00　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｆ２１Ｓ　9/02　Ｂ
Ｆ２１Ｖ　8/00　６０１Ｚ
Ｇ０９Ｆ　13/18　Ｄ
Ｆ２１Ｙ 103:00

【手続補正書】
【提出日】平成19年3月2日(2007.3.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
上辺に被取付部が設けられた四角形状の枠部を周囲に有しこの枠部の少なくとも前面に四角形状の開口部が形成され内部に電気部品収納部が形成された器具本体と；
器具本体の電気部品収納部に収納され電気的部品を有する点灯手段と；
点灯手段と枠部上辺との間に形成された所定の空間部と；
を具備した照明装置において、
器具本体の開口部は、導光体および表示パネルを有し器具本体の開口部に設けられる表面表示手段と、表面表示手段の上辺側の一辺に沿って設けられる光源とによって閉塞され、
表面表示手段及び光源は器具本体の開口部とほぼ同じ大きさの四角形状を形成するとともに、光源は、所定の空間部と対向しかつ器具本体の外側に配置されるように設けられることを特徴とする照明装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
請求項１記載の照明装置は、上辺に被取付部が設けられた四角形状の枠部を周囲に有しこの枠部の少なくとも前面に四角形状の開口部が形成され内部に電気部品収納部が形成された器具本体と；器具本体の電気部品収納部に収納され電気的部品を有する点灯手段と；点灯手段と枠部上辺との間に形成された所定の空間部と；を具備した照明装置において、器具本体の開口部は、導光体および表示パネルを有し器具本体の開口部に設けられる表面

表示手段と、表面表示手段の上辺側の一辺に沿って設けられる光源とによって閉塞され、表面表示手段及び光源は器具本体の開口部とほぼ同じ大きさの四角形状を形成するとともに、光源は、所定の空間部と対向しかつ器具本体の外側に配置されるように設けられることを特徴とする。これにより、器具本体の開口部を閉塞するように表面の表示手段を取り付け、表面の表示手段の導光体には光源からの光が照射されて導光体に入射した光が屈折し表示手段に出力することにより、器具本体の内部の電気部品収納部に電気部品を収納しても陰になるなど光学特性に悪影響を与えることがないため電気部品の配置の自由度が大きくなり、また、枠部を天井面に取り付けたり、背面を壁面などに取り付けることにより取り付ける際の汎用性が向上する。また、所定の空間部は、作業者の手が入る大きさの作業用のスペースとなり、作業性を向上している。また、光源は表示手段の上部に位置するとともに、所定の空間部と対向する器具本体の外側に配設されるため、光源の熱が放散されやすく温度上昇を小さくでき、さらに、点灯手段にも熱影響を与えにくい。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】削除
【補正の内容】